

市立伊丹病院広報誌

itami itami

すこやか

第16号

2004/10/1

編集：市立伊丹病院患者サービス向上委員会

発行：市立伊丹病院 TEL 072-777-3773

<http://www.hosp.itami.hyogo.jp/>

itami itami

脳卒中診療における早期発見と予防



アメリカでは、1990年代、“decade of brain(脳の10年間)”と題して国を挙げて大々的なキャンペーンとして取り組み成果を上げたようです。わが国においても三大生活習慣病の一つである脳卒中(脳の血管障害により起こる脳梗塞や脳出血、クモ膜下出血の総称)治療において本年、脳卒中治療ガイドラインが作成されました。

これは、全国の医療施設で行われている脳卒中治療が標準化され、どこの病院で治療を受けても同じ水準の治療が受けられるようにするための一つの目安となる診療手順です。

当院の脳卒中治療は、内科と脳神経外科が主として担当しています。3分の2が脳梗塞で、3分の1が脳出血とクモ膜下出血です。

現在、特に力を入れているのは、脳梗塞の治療です。早期の治療方針の決定、治療開始が患者さまの予後(後遺症状の状態)に大きく影響をします。

治療方針の決定は、緊急MRI検査で行います。この検査は、担当医が必要と考えた場合に行い、病巣や閉塞血管部位を診断するのです。この結果で点滴により血栓を溶かしたり、場合によっては、心臓カテーテル治療と同様に、脳血管内カテーテル手術により直接に血栓を除去することも可能となりました。

いずれにいたしましても、早期治療開始が最大の鍵となるのです。本年2月から伊丹医師会の先生方とも勉強会を始めました。年2回開催されており、「伊丹脳卒中病診連携カンファランス」という会です。

これは、「かかりつけ医」として、ご活躍されている医師会の先生方と一緒に脳卒中全般を勉強し、症状の早期発見、早期治療、慢性期の脳卒中再発予防などを目指すためです。

最後になりましたが、脳卒中にならないための最大のコツは「患者さま自身が脳卒中に興味を持つこと」です。「かかりつけ医」の先生方にもお気軽にご質問ください。

脳神経外科部長兼救急医療室部長 藤本康裕

医療現場職種紹介シリーズ（1）

視能訓練士

昭和46年に「視能訓練士法」が制定され、第1回の旧厚生省の国家試験が施行されて以来、5353名（平成15年12月31日現在厚生労働省発表）の有資格者を社会に送り出しています。

弱視斜視の視能矯正訓練という専門分野のみを業務としていた創生期に対して、今では眼科一般分野での幅広い視機能検査へと業務分野は拡大し、活躍の場はますます広がろうとしています。

では、具体的に業務内容をご紹介します。

☆専門分野である弱視や斜視の視能矯正、訓練。

6歳までに完成される視力や両眼視機能の正常な発達のために検査や訓練、後のケアをしており、年に100余名の視能訓練を行っています。

☆眼科一般分野の視機能検査

主に視力、眼圧検査、緑内障・網膜疾患・脳疾患の視野検査、白内障の手術のための眼内レンズを決定する超音波（Aモード）検査、若年層の近視化に伴う眼鏡、高齢化に伴う老眼鏡、複視を矯正するためのプリズム眼鏡処方、眼底写真、角膜検査、涙液分泌検査などです。

☆視力低下者のリハビリ指導（補助具の選定指導）

緑内障、糖尿病網膜症、網膜色素変性症などによる視力低下者の補助具の選定指導は、少数ですが、ルーペや拡大読書器などの紹介をしております。

他の活動として、毎年10月に市民の皆様を対象に、耳鼻いんこう科と共同で健康教室を開催しております。

第3回 眼科・耳鼻いんこう科健康教室のご案内

日時 平成16年10月23日（土） 午後1時から3時まで

場所 スワンホール（3階の第6・第7会議室）

参加費 無 料

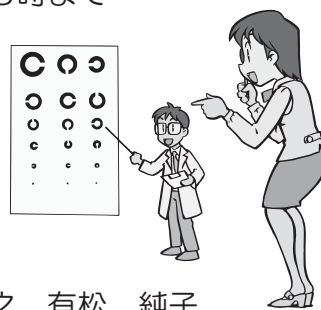
今回のテーマ

《眼科》 飛蚊症 医師 板谷 浩志

眼精疲労 視能訓練士 天野みや子、中塚 敬之、有松 純子

《耳鼻いんこう科》 鼻出血 医師 前谷 近秀

検査員 千田 香苗



医師の人事異動が下記の表のとおりありましたので、お知らせいたします。

職名等	氏 名	発令種目	発令年月日
泌尿器科 研修医	ノムラ ヒロノリ 野村 広徳	採用	16年10月1日

補職名等	氏 名	発令種目	発令年月日
泌尿器科 研修医	クロキ ヨシカズ 黒木 慶和	退職	16年9月30日

安全で人にやさしい医療機器・治療法の紹介

今年（平成16年）の3月に更新されたX線TV（Ⅲ）のご紹介

X線TV装置は、家庭用のTVを見るように、X線を使って身体の内部の状態をリアルタイムにモニターで観察し、その状態を写真に撮影することができる装置です。バリウムを飲んで撮影する胃の検査や、バリウムを使った大腸の検査など、一般に幅広く使われています。

3月に更新されたTV（Ⅲ）は検診棟にあり、内視鏡を使う検査に主に使用されています。

この部屋では内視鏡を用いて以下のような検査や治療が行われています。

- 大腸ファイバー・・・・・・・・大腸に病気が無いかを調べる検査
- 十二指腸ファイバー(造影)・・・・胆管、膵管内に病気が無いかを調べる検査
- 気管支ファイバー・・・・・・・・肺に病気が無いかを調べる検査
- 内視鏡的胆石摘出術・・・・・・・・胆石を取り出す治療
- 内視鏡的大腸ポリープ切除術・・・・大腸にできたポリープを切除する治療

これらの検査や治療には、X線による透視や撮影が必要となります。

この装置は、以前のTV装置ではできなかったデジタルデータを出力できるので、鮮明な動画や静止画を得ることができ、効率よく内視鏡手技をサポートすることができます。

また、今までは検査中には患者さまにいろいろな方向を向いていただく必要がありましたが、この装置は特殊なCアームでX線管球とX線を捕らえるFPD（フラットパネル・デテクター）が繋がっているため装置自体があらゆる角度にも調節が可能となり、患者さまは上を向いた状態で自由な方向から透視撮影が可能で、患者さまの負担を最小限にできます。また、パルス透視という機能もあり被曝線量を低減することができます。そして、寝台は床上52cmまで下がり、患者さまの乗り降りが大変楽になりました。その他にも色々な機能を備えた最新のX線TV装置です。



X線TV-Ⅲ装置



内視鏡



TV-Ⅲで撮影した十二指腸ファイバーの写真

女性総合外来診療始まる

平成16年9月2日から毎週木曜日の午後2時から4時までの完全予約制で、本院の女性医師5人（内科、産婦人科、小児科、眼科）のローテーションによる診療を開始しました。

予約状況につきましては、11月4日までの予約をいただいております。

予約受付時間は、平日の午後1時から4時まで（072-777-8320）

看護師の専門分野資格者紹介①

看護師の資格を持ちながら、さらに専門分野の認定を受け活躍している看護師をシリーズで紹介します。

感染管理認定看護師 大迫しのぶ

日本看護協会研修学校で1年間の教育を受けた後、試験により認定されます。国内の認定看護師146人の1人です。業務内容は、主に施設内の感染管理に関する相談、実践、教育を担当します。

人間ドック日帰り（1日）コースのご案内

平成16年4月1日より人間ドックの日帰りコースを新設いたしました。受診を希望される方で、所属されている健康保険組合や国保加入者につきましては助成制度がありますので、ご確認の上お申し込みください。コース、利用料金は、次のとおりです。

- | | | |
|------------|--------|---------------|
| ①1泊2日のホテル泊 | 昼・夕食付き | 63,000円（消費税込） |
| ②0泊2日の日帰り | 昼食付き | 47,000円（ // ） |
| ③日帰り（1日） | 軽食付き | 38,000円（ // ） |

肥満・糖尿病予防と療養のための すこやか教室開催のお知らせ

日 時：平成16年11月20日（土）

13時半から17時まで

場 所：スワンホール（3階の第6・第7会議室）

参加費：パンフレット代300円のみ

定 員：20人（完全予約制）

参加申し込み：平成16年10月29日（金）午後5時まで

参加申し込み先：内科外来（072-777-3773）

持参して頂きたい物：筆記用具・動きやすい服装

運動靴・タオル

内 容：途中に休憩を含めて



内 容 と 担 当 者	
13:30～14:00	肥満って何？：医師 糖尿病って何？：医師
14:00～14:30	運動療法とすわろビクス（椅子に座って運動）：理学療法士
14:30～15:00	糖尿病の検査：検査技師 糖尿病のお薬：薬剤師
15:00～15:20	食事療法とカードで献立を作ってみよう：栄養士
15:20～16:00	日常生活の工夫①：看護師 ー低血糖と手当てー 日常生活の工夫②：看護師 ーシックデイ（病気の時）と手当てー
16:00～17:00	身体の調子を見よう（体重・体脂肪・血圧・血糖測定など）

肥満・糖尿病医療推進委員会